

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	《理念の共有と実践》 入社時のオリエンテーションとoff-JTで法人の理念を伝えている。働く職員全員が理念を共有できるかは、まだ不十分である。	グループホーム職員は、地域密着型サービス事業所としての役割を理解し、法人の理念を基に、ケアサービスの実践に取り組みます。	●ユニットミーティング時、地域密着型サービスの意義と役割について、確認します。●ユニットミーティング時、法人の理念を確認します。●グループホーム内で、今年度重点的に取り組むケア目標を掲げます。3か月毎に目標の振り返りを行います。	12ヶ月
2	11	《運営に関する職員意見の反映》 管理職・リーダー級職員だけでなく全職員に会議の内容等、現況報告が不十分である。	管理職・リーダー級職員は、メンバー級職員の声に耳を傾け、迅速な課題解決に努めます。現場の課題は小さい内に解決できるよう、リーダー級職員と管理職職員は、情報を共有します。	●各ユニットミーティングに、統括ユニットリーダー、生活支援課長は出席し、現場の課題を共有します。●随時、現場の課題を管理職間で共有し、解決方法を協議し、迅速に対応します。	12ヶ月
3	4	《運営推進会議を活かした取り組み》 定期的な運営推進会議が開催されていない。	定期的に運営推進会議を開催し、知見者・行政等と運営状況を共有します。	●ご家族交流会に、知見者・行政等も加わり、運営状況の共有を図ります。●家族が参加する施設行事時に運営推進会議を開催します。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。